

LNC-H100

LANチェッカー(ポート探査付)

取扱説明書

このたびは、「LANチェッカー(ポート探査付)/LNC-H100」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用にあたっては本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みください



警告

この表示は「誤った取扱いをすると人が死亡、又は重傷を負う可能性がある」内容を示します。

- 本器を無断で改造したり分解しないでください。
- 不適合なコネクタ、および不適切な圧着をしたコネクタは挿入しないでください。
- 帯電しているケーブルを接続しないでください。破損の原因になります。



注意

この表示は「誤った取扱いをすると人が傷害を負ったり、物的損害が発生したりする可能性がある」内容を示します。

- 使用を開始する前に本器の外観構造に異常がないかを確認してください。
- 雨中では危険ですので使用しないでください。
- 本説明書に記載の用途以外には絶対に使用しないでください。
- 子供には手を触れさせないでください。



使用上のご注意

- 静電気が帯電したケーブルを接続すると本器が破損する場合がありますので放電させてから接続してください。
- 保管する場合は直射日光の当たらない所に保管してください。
- 長時間使用しない場合は電池を外して保管してください。
- LEDの光が弱くなったら電池を交換してください。
- 電池は付属していません。新しい電池を、別途ご用意してください。

特長

- 端末側のLANケーブルが、HUBのどのポートに接続されているかわからない時に、本体を接続することにより簡単に見つけることができる
- 本器を取付けるだけで、一人での作業が可能
- 他のネットワークに関わるコンピュータやネットワーク機器が動作した状態でも使用可能
- LANケーブル、電話線の断線、短絡、誤配線の検出が可能
- 本体とリモートは着脱可能

用途

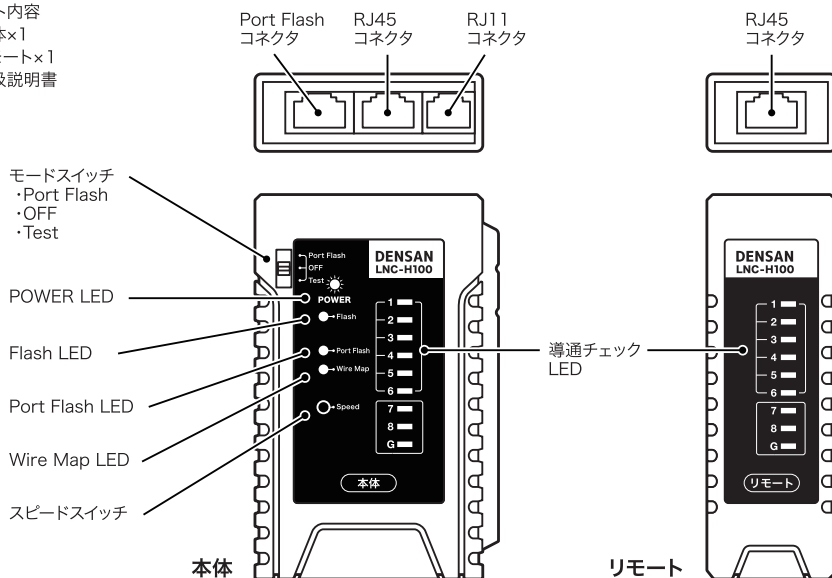
- HUB接続ポートの探査: LANケーブルのHUBの接続先が簡単に探査できる
- LANケーブルの導通検査: LANケーブルの断線、短絡、誤配線がチェックできる
- 電話線の導通検査: 電話線の断線、短絡、誤配線がチェックできる

仕様

- 使用電池: 006P/9V(電池は付属していません)
- 使用温度範囲: 0~40°C(80%RH以下)
- 寸法: 97.2×104×27mm(本体・リモート一体の場合)
- 質量: 130g(本体・リモート一体の場合、電池含まない)

セット内容・各部名称

- セット内容
 - ・本体×1
 - ・リモート×1
 - ・取扱説明書

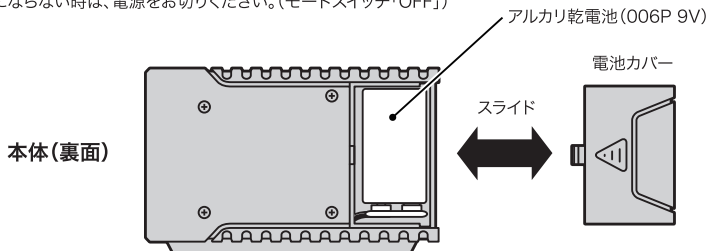


- モードスイッチ:電源のON・OFFモードの切替え
- POWER LED:電源ON時点灯
- Flash LED:HUBのポート探査で、HUBと接続した時に点滅
- Port Flash LED:「Port Flash」モード時に点灯
- Wire Map LED:導通検査時に点滅、ステップ時は点灯
- スピードスイッチ:点滅スピードの切替え
スピードは3段階(中速→高速→低速)
3秒長押しでステップモードへ切替わる。(LED点灯)スピードスイッチを押す毎に移動
3秒長押しで戻る

⚠ 注意 電池は付属していません。新しい電池をご用意ください。

電池のセット

- 最初に電池カバーを外し、電池の＋を合わせてセットしてください。
ご使用にならない時は、電源をお切りください。(モードスイッチ「OFF」)

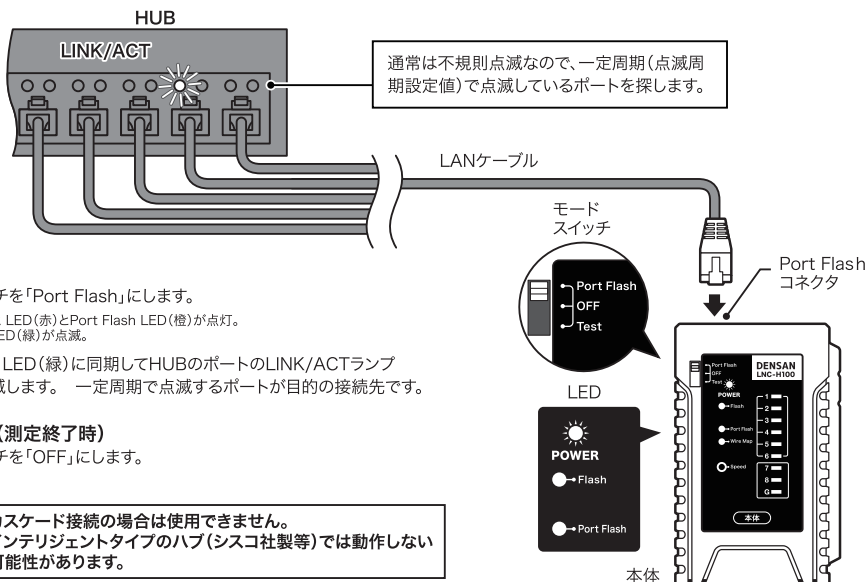


- 電池交換を行うときは、電源を切り、コネクタには、何も接続しないでください。
- 電池は付属していません。新しい電池をご用意ください。
- 使用電池は、006P/9V×1個です。(アルカリ乾電池推奨)

1 HUB接続ポートの探索

① LANケーブルを接続する

- ・HUBに接続されているLANケーブルの端末側プラグを本体のPort Flashコネクタに「カチッ」と音がするまで差込みます。
- ・壁のコンセントを調べる際はネットワークパッチケーブル(別売)をご用意ください。



② 測定開始

- ・モードスイッチを「Port Flash」にします。
POWER LED(赤)とPort Flash LED(橙)が点灯。
Flash LED(緑)が点滅。
- ・本体のFlash LED(緑)に同期してHUBのポートのLINK/ACTランプ(LED)が点滅します。一定周期で点滅するポートが目的の接続先です。

④ 電源を切る(測定終了時)

- ・モードスイッチを「OFF」にします。

注意

- カスケード接続の場合は使用できません。
- インテリジェントタイプのハブ(シスコ社製等)では動作しない可能性があります。

2 LANケーブルの導通検査

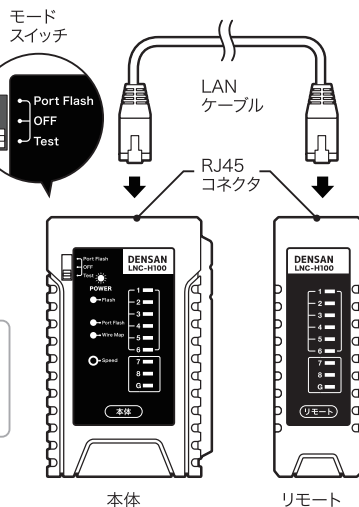
① LANケーブルを接続する

- ・本体とリモートのRJ45コネクタに、検査するLANケーブルを差込みます。

② 測定開始

- ・モードスイッチを「TEST」にします。
POWER LED(赤)が点灯し、Wiremap LED(赤)が点滅。
この時の点滅スピードは「中速」
- ・スピードスイッチを押して、スピードを切替えます。
(中速→高速→低速→中速)、3秒長押しでステップモード
- ・本体とリモートの導通チェックLEDを確認してください。
1からGまで順次点滅すれば正しく接続されています。
(シールドケーブルで無い場合は、Gは点灯しません。)
- ・ケーブルが断線、短絡、誤配線の場合は下記のようにLEDが点灯し、そのLEDの番号に相当するケーブルに障害があります。

断線(オープン)・・・本体とリモートの同じ導通チェックLEDが点灯しない。
短絡(ショート)・・・リモートの導通チェックLEDが点灯しない。
 または、リモートの複数の導通チェックLEDが点灯する。
誤配線・・・・・・本体とリモートの導通チェックLEDの順番が異なる。



③ 電源を切る(測定終了時)

- ・モードスイッチを「OFF」にします。

3 電話線の導通検査

① 電話線を接続する

- ・本体とリモートのRJ11コネクタに、検査する電話線を差込みます。

② 測定開始

- ・モードスイッチを「Test」にします。

POWER LED (赤) が点灯し、Wimap LED (赤) が点滅。
この時の点滅スピードは「中速」

- ・スピードスイッチを押して、スピードを切替えます。

(中速→高速→低速→中速)、3秒長押しでステップモード

- ・本体とリモートの導通チェックLEDを確認してください。

同時に順次点滅すれば正しく接続されています。

- ・電話線の芯数(2芯、4芯、6芯)により、導通チェックLEDの点灯状態が異なります。

2芯 3→4
4芯 2→3→4→5
6芯 1→2→3→4→5→6

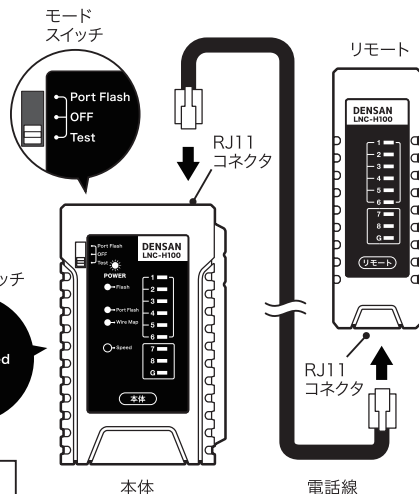
スピードスイッチ



③ 電源を切る(測定終了時)

- ・モードスイッチを「OFF」にします。

注意 1芯しか接続されていない場合は、LEDは点灯しません。



故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、お問い合わせや修理を依頼される前に以下の点をご確認ください。

- 電池の接触不良はありませんか？
- 電池の極性(+)、(-)は正しいですか？
- 電池が消耗していませんか？(LEDの光が弱くなっている)
- 製品本体に損傷はありませんか？
- 製品本体、または被測定物の置かれている環境に強いノイズがありませんか？
- 操作手順が取扱説明書の使用方法通りですか？

以上の点を確認しても正常に作動できない場合、販売店にご連絡ください。

保証について

保証期間：購入日より1年間(ただし保証期間内でも次の場合は保証できません)

- 火災・地震・水害・落雷、その他の天災地変
- 取扱説明書によらない不適切な取扱い、使用上の誤り、保管方法が原因で生じた故障、異常電圧による故障
- 分解・改造での破損
- お買い上げ後の持ち運びや輸送の間に、落下させるなど異常な衝撃が加わって生じた故障
- その他当社の責任とみなされない故障
- お買い上げ年月日の証明できる伝票等のない場合

※上記に該当する場合は有償修理となります。